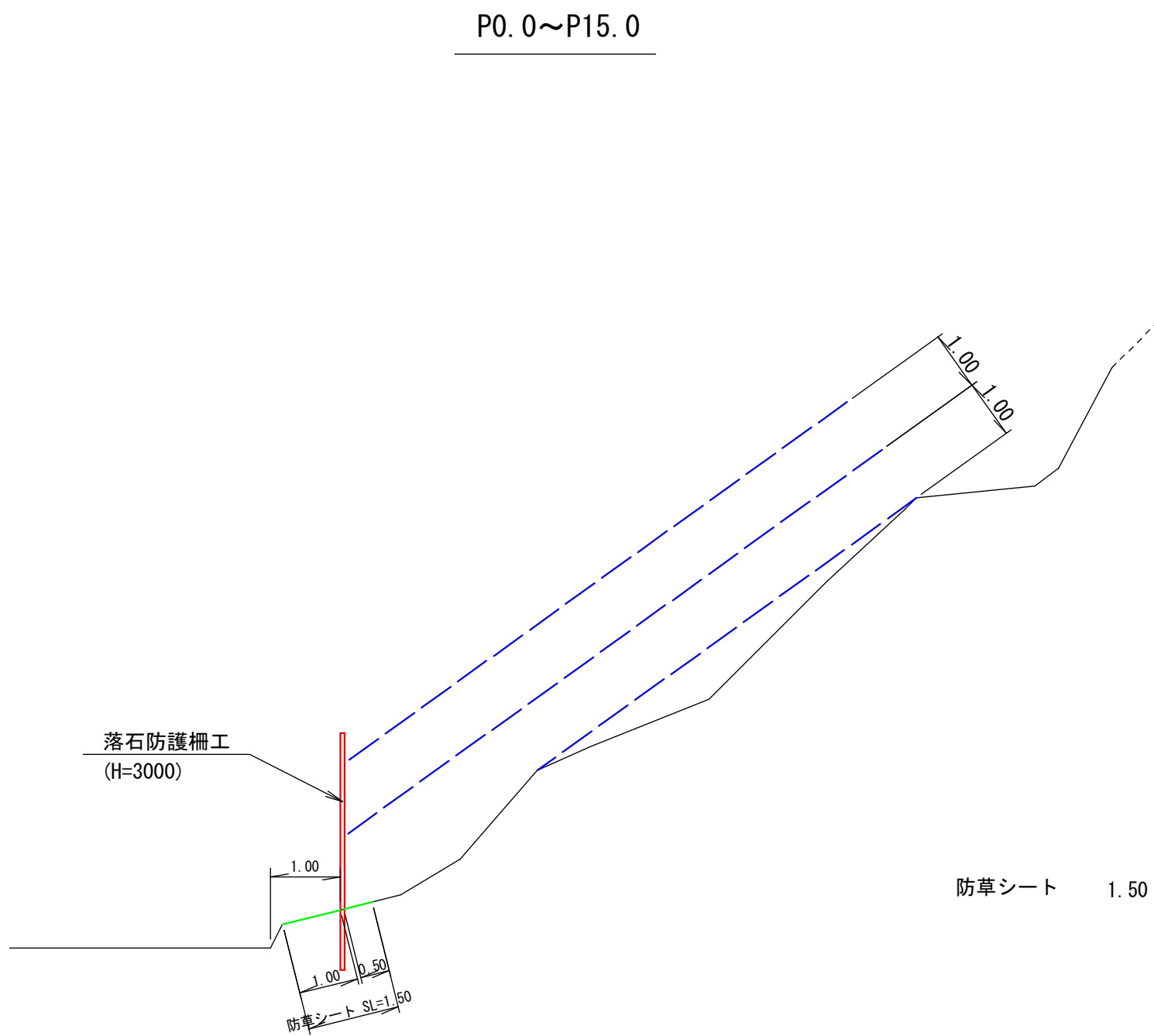


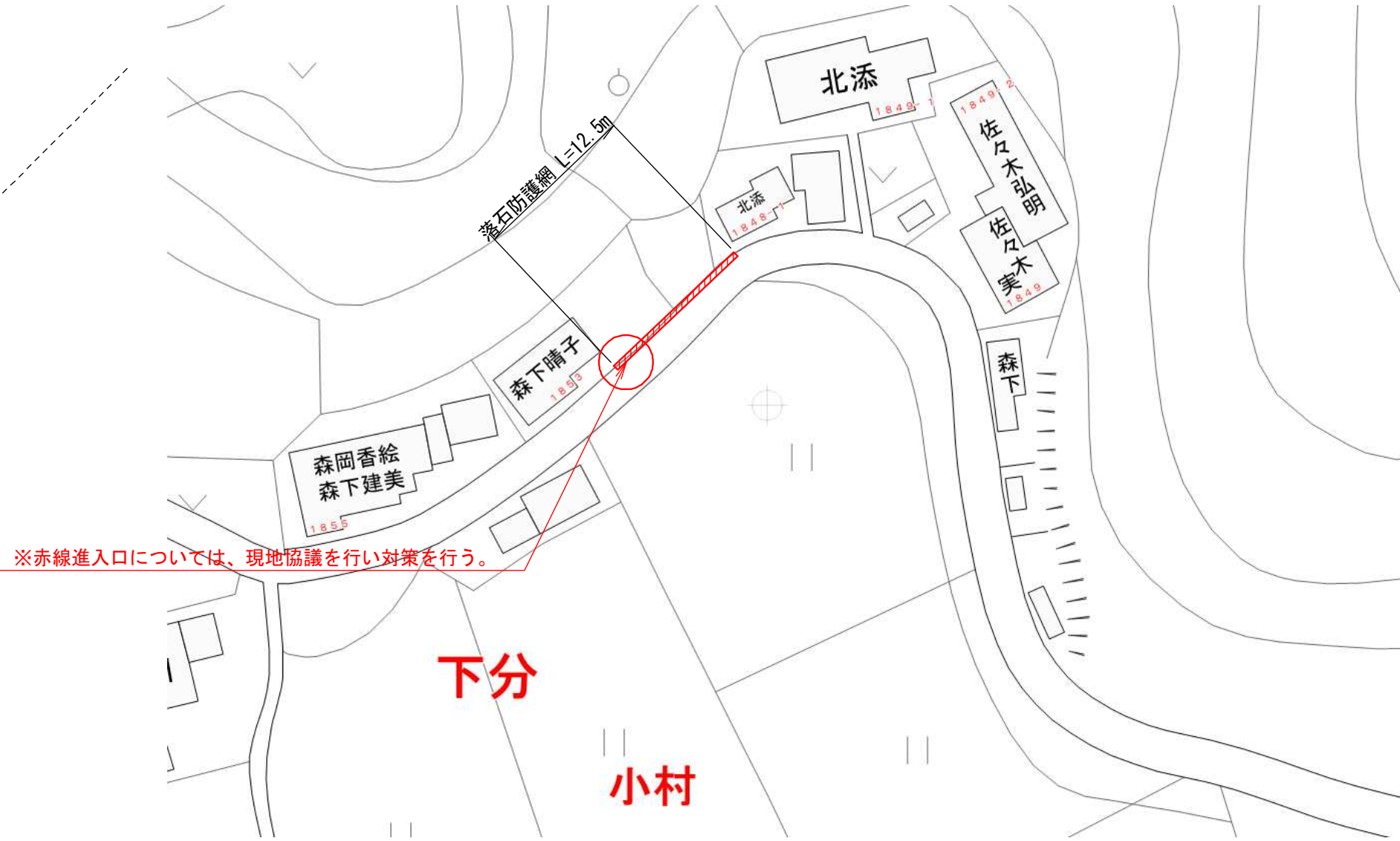
横断面図

S=1:100

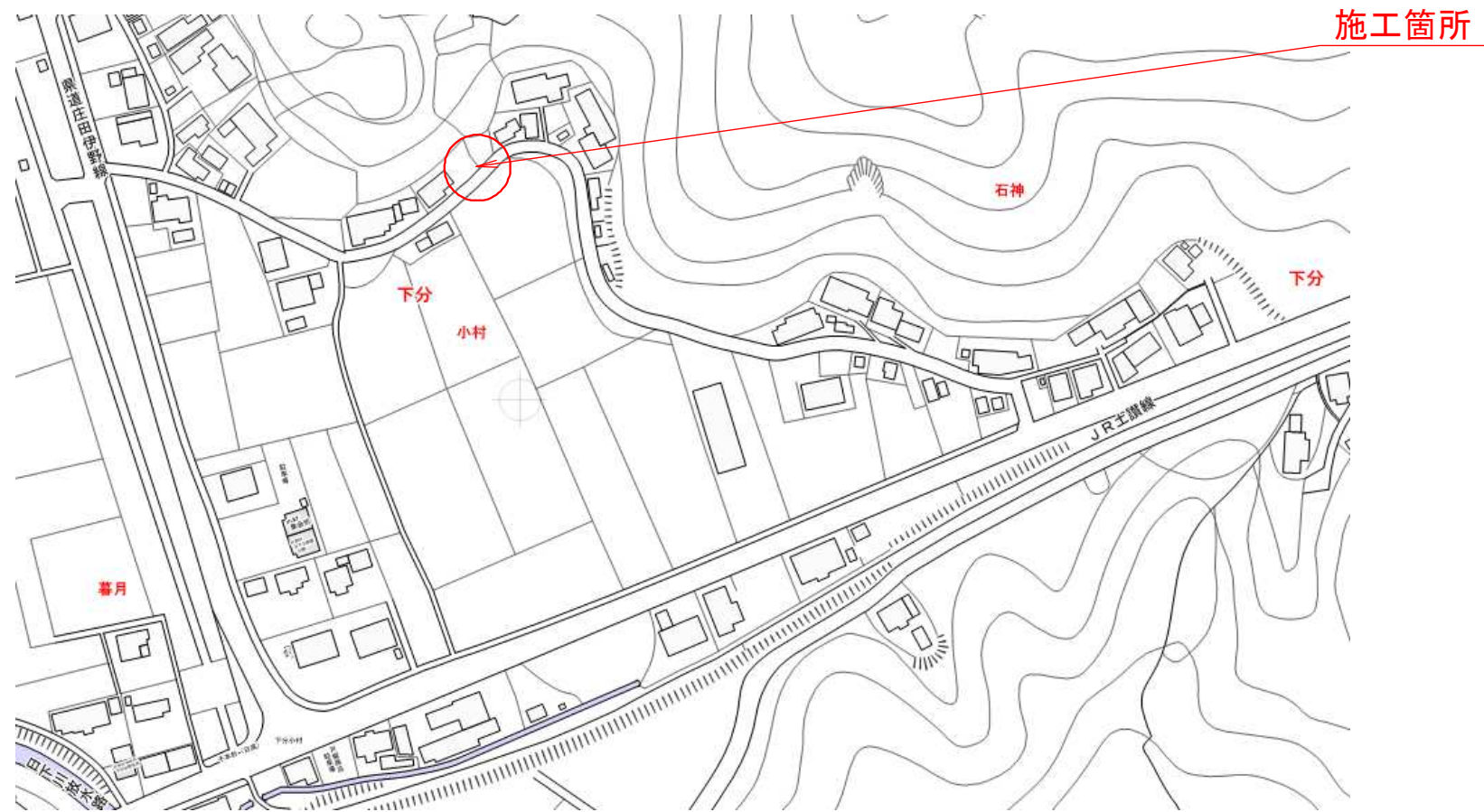


平面図

S=1:500



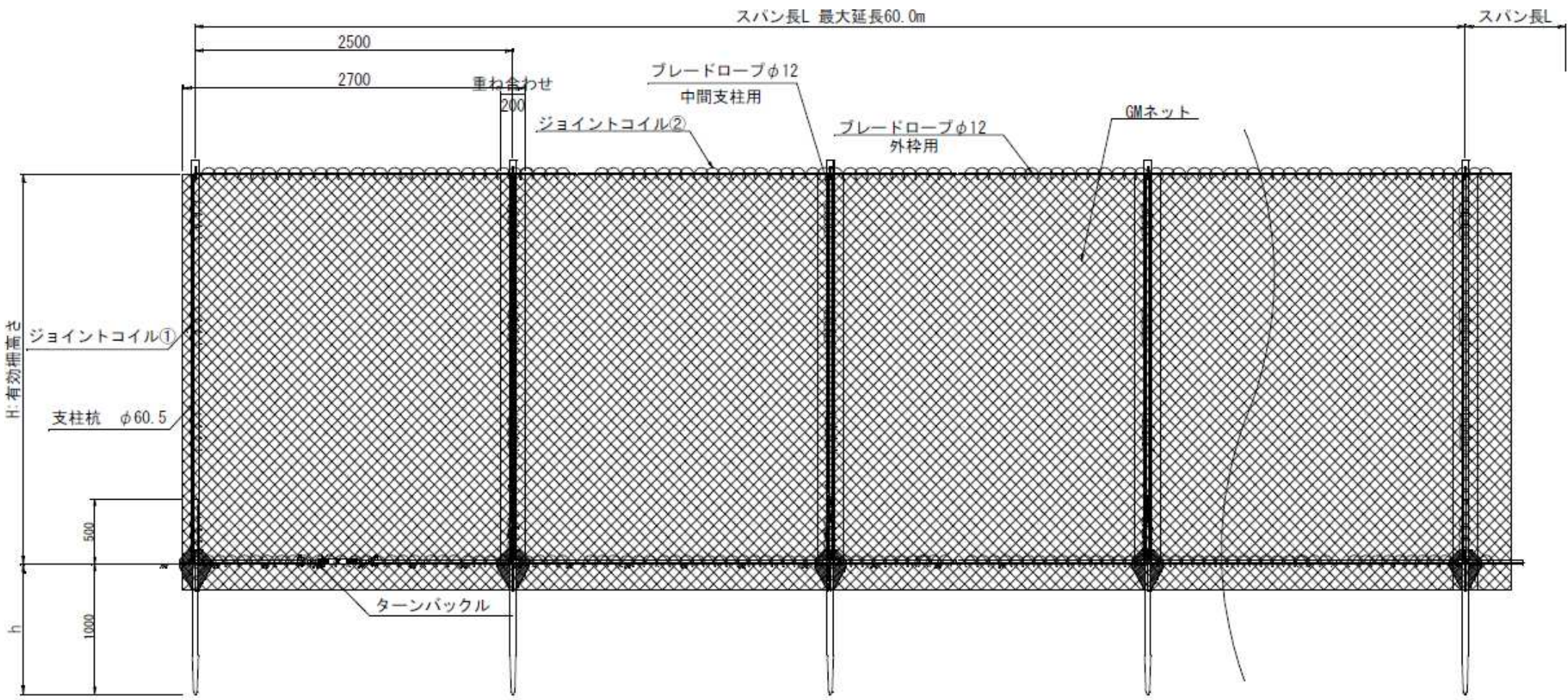
位置図



構造図

落石防護柵
(H=3000)

S=1:50



吸収エネルギー 10 kJ
総施工延長 L 12.5 m ※最大60.0m1区間 区間数 A= 1
総スパン数 N 5 スパン ※最大24スパン1区間

内 訳
2.5mスパン ※Nn: 同スパン
N1= 5×1区間
区間延長(m) ※Ln: 同一延長 ※nが同じスパンを延長に換算
L1= 12.5×1区間

柵高 H 3.0 m
基礎長 h 1.0 m
ネット幅 W 2.7 m

工 種	種 別	計 算 式	設計数量
支柱設置工	支柱建込工	2.5mスパンで配置 S= スパン数 N+1本	6 本
			2 本
			4 本
受撃部構築工	GMネット設置工	ネット高 H1= 3.2 m ※H+余長0.2m 使用数量=H1×W×N×1.03 ※ロス率3.0%	44.5 m ²
	・ジョイントコイル (支柱部用)	支柱1か所につき4本使用 jct= S×4	24 本
	・ジョイントコイル (上下ロープ用)	延長方向0.3m/箇所使用(上下ロープに配置) jct= L/0.3×2	83 本
	・ブレードロープ(φ12) (周回部)	上下延長方向と両端部柵高さ+端部処理予長さ(1.0m)をスパン数分 BL1= ∑Ln×2+(A×2×H+A) ※Ln:スパン延長	32.0 m
	・ブレードロープ(φ12) (支柱部)	支柱1か所当たり 支柱高さ×2+結代1.0m 中間支柱で使用 BL2= H×2+1.0×SC	28.0 m
	・ターンバックル	周回部ロープ設置区間1か所につき1個使用 TB= A×1	1 個
	・ロープ差込棒	周回部ロープ設置区間1か所につき1本使用 RB= A×1	1 本
	・基礎打込管	周回部ロープ設置区間1か所につき1本使用 RB= A×1	1 本

数 量 計 算

落石対策工		
落石防護柵工(H=3000)	=	12.5 m
支柱設置	=	6.0 本
防護網設置工	3.2×2.7×5×1.03	= 44.5 m ²
法面工		
防草シート設置	12.5×1.50	= 18.8 m ²

令和5年度			
日 高 村			
工 事 種 別	維持 第5号 村道小村1号線落石対策工事		
図 面 名 称	位置図・横断面図 構造図	縮 尺	図 示
路線河川名			
工 事 箇 所	高知県 高岡郡 日高村 下分 字小村		
設 計 種 別		図 面 番 号	1 1
事 務 所 名	日高村役場		
会 社 名			